

平成18年9月28日
筑波大学

当面の行事予定

【本学主催事業】

○ 平成18年度筑波大学附属図書館企画展

- ・ 本年度の企画展は、「中国三大奇書の成立と受容 『三国志』『水滸伝』『西遊記』はどのように読まれ、描かれたか」と題し、本学所蔵の資料をはじめ貴重な資料を数多く展示・公開します。

日 時：平成18年10月2日（月）～27（金）

場 所：筑波大学附属図書館

問合せ先：附属図書館

電話：853-2376

○ 筑波大学学園祭（雙峰祭）

- ・ 第32回目となる本年の雙峰祭は「筑波再発見」をテーマに開催。広報コーナーでは教員による入学者相談のほか、現役学生による受験生応援コーナーも開設します。

日 時：平成18年10月7日（土）～9日（月） 10:00～17:00（各日）

場 所：大学構内の各学群棟、大学会館 ほか

問合せ先：学生部学生生活課

電話：853-6092

○ 第9回ホームカミングデー

- ・ 卒業生と教職員の交流を深め、本学の一層の発展に資する目的で開催。第9回目となる今回は、本学を昭和61年3月（医学専門学群は昭和63年）の卒業生、図書館情報大学を昭和61年の卒業生及びそのご家族を招待し、現在の筑波大学や研究学園都市の様子をご覧いただきます。

日 時：平成18年10月8日（日） 11:00～

場 所：筑波大学 大学会館 他

問合せ先：学生部就職課

電話：853-2253

○ Jacques Rogge(ジャック・ロゲ)国際オリンピック委員会会長名誉博士称号授与式
ならびに記念講演会の開催について

- ・ 本学の学生に対するオリンピックへの幅広い学問的関心の向上に貢献されたこと、および筑波大学の研究者にオリンピック研究の重要性とその意義を提供されたことなど同氏の本学への貢献に対し、筑波大学名誉博士の称号を授与するものです。

日 時：平成18年10月20日(金) 11:00~12:10

場 所：筑波大学 大学会館

問合せ先：人間総合科学等支援室

電話：853-2591

○ 第30回秋季スポーツ・デー

- ・ 本学の全学生にスポーツ活動の機会を与えることにより、健康な大学生活を送らせるとともに、学内スポーツ活動の振興に寄与することを目的として春季及び秋季に実施しています。(昨年度秋季の参加者数延べ3,314人)

日 時：平成18年10月21日(土) 9:00~18:00

22日(日) 8:00~17:00

場 所：筑波大学陸上競技場他 学内の体育施設

問合せ先：学生部学生生活課

電話：853-2248

○ アジア・太平洋生物系大学院生ネットワーク

「あそび」ネット(AsOBiNet; Asia-Oceania Biological Network)プログラム

- ・ 筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻・構造生物学専攻・情報生物科学専攻が、(財)ユネスコ・アジア文化センターが実施するユネスコ青年交流信託基金大学生交流プログラムによる助成を受け、アジア・太平洋地域にある著名大学の生物系若手研究者(大学院生)との交流を促進する事業を実施します。

日 時：平成18年10月23日(月)~11月3日(金)

場 所：筑波大学つくばキャンパス 他(下田臨海実験センター、日本科学未来館等)

問合せ先：生命環境科学研究科情報生物科学専攻

電話：853-4668 (or 4908)

ジャック・ロゲ I O C 会長名誉博士称号授与式ならびに記念講演会

1 期 日 平成18年10月20日（金）

2 場 所 筑波大学 大学会館国際会議室
" 総合交流会館ラウンジ

3 授与式等実施時間

(1) 名誉博士称号授与式（大学会館国際会議室）

11:00～11:20

(2) 記念講演会（大学会館国際会議室）

11:20～12:00

(3) 記念レセプション（総合交流会館ラウンジ）

12:20～13:20

4 その他

(1) 式典運営の関係上、授与式・記念講演会場（大学会館国際会議室）には10:55までに入室願います。

(2) 授与式・記念講演会場（大学会館国際会議室）には記者専用席をご用意しておりますので、ご利用下さい。



ACCU International Exchange Program under the UNESCO/Japan Funds-in-Trust for
the Promotion of International Cooperation and Mutual Understanding

「あそび」 ネットで筑波大学と 3 カ国の大学院生が国際交流

10 月 23 日より 11 月 3 日の 12 日間、筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻・構造生物科学専攻・情報生物科学専攻（生物系 3 専攻）の大学院生が主体となり、「アジア-大洋州生物系大学院生ネットワーク：“あそび” ネット（AsObiNet; Asia-Oceania Biological Network）」プログラムを実施する。これは、(財)ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）主催による「ACCU・ユネスコ青年交流信託基金事業 大学生交流プログラム」の一環として実施するものである。

本「大学生交流プログラム」は、日本政府の拠出金により設立された「ユネスコ青年交流信託基金」による事業の 1 つとして、グローバル化の進む現代社会における新たな課題に対処すべく、ユネスコ関連事業に沿った特定のテーマにおける専門性の向上及び相互理解の促進を通し、「教育、科学及び文化を通じての、国際平和と人類の福祉」というユネスコ精神の普及と実現に寄与することを目的としている。

AsObiNet は単なるインターネットを利用するだけの表面的なネットワークではない。12 日間、寝食を共にし、学生同士がいわゆる“裸の付き合い”をする。そして、発展著しいアジア-大洋州各国の現状を理解し、将来を担う生物系若手研究者間の個人的交流を促進することによって、近未来の共同研究など学術的交流に発展させていくシーズを育むための深みのある交流が目的である。

ニューサウスウェルズ大学（UNSW）、オーストラリア国立大学（ANU）、モナッシュ大学（MU）（オーストラリア）、精華大学（中国）およびカセサート大学（KU）（タイ）より、審査を経て選ばれた 10 人の大学院生と 2 名のスタッフが招待され、筑波大生（10 人）及び教員と濃密かつハイレベルの交流を行う。

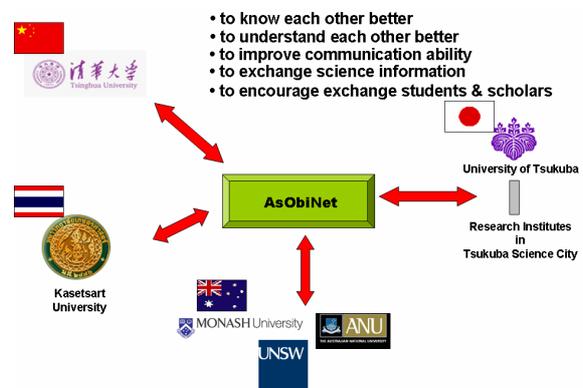
AsObiNet はもう既に動きは始めている。筑波大学では週 1 回の英語によるミーティング、ネット利用による来日外国人メンバーとの相互連絡、HP の立ち上げ等によってプログラムを練り上げ、日本での 12 日間の交流活動に備えている。

参加者はまず、ACCU や UNESCO の活動についての理解を深めるセミナーに参加する。その後、筑波大学つくばキャンパスおよび下田臨海実験センターにおいて、生物学研究の最前線に立つ基礎生物学研究の成果について、Nature & Science Seminar や研究室訪問から学び、意見交換を行う。さらに、日本科学未来館におけるセミナーのほか、世界文化遺産である日光での研修や東京での各種博物館見学などにより日本の科学と文化の理解を深める。

特に大事なことは、学生同士のプレゼンテーション&ディスカッションの時間を豊富に取ってあることである。お互いが語り合う機会を増やし、お互いの疑問を出し合うことによって、研究や文化の違い等についての理解を深めることに役立つ。

いずれもその国を代表する大学の学生たちであり、それぞれの国の将来を担う人材として期待される。したがって、この交流はそれぞれにとって将来の大きな財産となるものである。

参加者は次のとおり。茅野啓介（リーダー、情報生物科学専攻 D1）、辻敬典（情報 D1）、石川香（情報 D1）、汐崎七海（生物科学専攻 M2）、佐藤友絵（生物科学 M1）、大田萌（生物学類 UG）、入江奈央子（UG）、大澤陽樹（UG）、國谷麻里子（UG）、武谷真由美（UG）、ベル・キャサリン（UNSW Ph.D.）、カン・チンユ（UNSW Ph.D.）、メイヤーズ・ジャッキー（MU Ph.D.）、ペンゲリー・ジャスパー（ANU Ph.D.）、リュウ・ジンゴオ（精華 Ph.D.）、タン・ジャオウエン（精華 Ph.D.）、リー・ジュウフェン（精華 Ph.D.）、ブラングボチ・バサコム（KU Ph.D.）、チャトドゥモロン・バッサナ（KU Ph.D.）、サントン・プラディット（KU Ph.D.）ナガツジ・ケンリー（UNSW コーディネーター）、および Wu 教授（精華）。更に、Wichen 教授（KU）も特別参加する。



“あそび” ネット概念図

[本件に関するお問い合わせ先]

筑波大学大学院生命環境科学研究科情報生物科学専攻長 教授 白岩善博

Tel: 029-853-4668, Fax: 029-853-6614, E-mail: emilhux@biol.tsukuba.ac.jp